

地域の夢実現事業



鹿沼市立栗野中学校

OPEN SCHOOL

学校公開

# 学校が未来を面白くする!

## 2018 11.19(月) ~ 30(金) 8:30 ~ 16:00

本校は、開かれた学校経営による地域とともに歩む学校づくりの推進をしております。本年2回目の学校公開期間となります。地域の方々の来校をお待ちしております。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。  
鹿沼市の地域活性化事業『地域の夢実現事業』として、芸術家の方々の参加や、地元食材を活用したフェス等、質の高いイベントを催しております。この事業を皆様と共有し、コミュニティづくりの活性化に繋がりたいと願っています。

第1会場  
栗野中



第1会場 栗野中 11/23(金)・24(土)は休館

二人展 11.19(月)~30(金)

高橋千代子 (彫刻)  
辻 久美子 (絵画) 詳細は裏面に記載

常設展 11.19(月)~30(金)

校内が24名の作家60点の作品  
展示会場に(生徒作品含む)



【主な作家】  
秋山佳奈子 富井綾子  
飯村直久 林佐和子  
大貫恵美子 森戸重臣  
株田昌彦 渡辺ふく  
田中 茂

鑑賞授業

11.19(月) 13:25~15:25 高橋千代子(2年生)

11.22(木) 10:35~12:25 辻 久美子(1年生)

栗中バラ園鑑賞

秋フェス 11.25(日)

~ 地域の夢実現事業開催セレモニー ~

夢実現事業記念公演

平井李枝  
ピアノ・ソプラノ  
コンサート



9:30~ 体育館

水の広場音楽会 10:30~ 水の広場

●栗野中吹奏楽部演奏 ●有志によるピアノ演奏

ギャラリートーク 展示会場で生徒による作品解説

栗中カフェ 10:30~ ランチルーム

かめま牛すじトトロ煮込みカレー 500円  
たっぷりゆず味噌こんにやく 100円  
莓ホイップ(すえひろ製菓さんのクリーム使用) 100円  
永野自家焙煎コーヒー 100円

各150円  
限定販売



ぜひ、  
ご利用ください!

第2会場 旧栗野中 月曜休館 10:00~15:00

~ 地域の夢実現事業第2会場開催セレモニー ~

ワークショップ 11.18(日) 9:30~11:30

テーマは「私たちの道祖神」!! 3つの表現方法が体験できます。

石彫 私たちの道祖神をつくろう

作家と共に  
体験!!

小尾 昌彦 本多 正直  
飯村 直久 堤 一彦  
石川 隆 渡部 順子



絵画 道祖神を描こう

吉田 利恵子

和紙を貼った  
パネル

塑像 私の道祖神を  
制作

徳田 哲哉

テラッコッタ用  
粘土で挑戦

展覧会 11.18(日)~30(金)

石彫作品

【出品作家】  
飯村 直久 小尾 昌弘  
石川 隆 堤 一彦  
本多 正直 渡部 順子

鹿沼市・日光市中学校  
美術部展(協力校)  
美術部が各教室を飾ります。

第2会場  
旧栗野中





# 第1会場 栗野中 11/23(金)・24(土)は休館

## 二人展 11.19(月)～30(金) 絵画・彫刻作品を学習センターやランチルーム及び野外に展示いたします。

**彫刻**  
高橋 千代子  
Chiyoko Takahashi

1987年 埼玉県展(彫刻)以後毎年出品  
(県知事賞・県議会議員賞(彫刻・洋画)・県教育長賞・県美術協会会長賞・高田誠記念賞)  
1991年 第45回二紀展(彫刻)以後毎年出品  
(奨励賞・同人賞・会員賞・春季展賞・U氏賞・宮本賞)  
TERRA国際シンポジウム(セルビア)／大田原街かど美術館個展／和解と和合の韓日展(ソウル)／和解と和合の日韓展(日本)／日韓交流展(日本)  
ワグナーナードール美術館個展／われらの地平線展／国際女流作家展(韓国光州)他、グループ展、洋画個展 等  
日本美術家連盟会員、一般法人二紀会委員、埼玉美術協会会員、日本陶芸会会員

私の彫刻は写実彫刻です。  
誰にもわかりやすい反面、難しいように思います。私は制作にあたって台座の上に高くそびえるような作品でなく、人混みにまぎれこむような作品をと思って制作しています。  
そして、人間に限らず、動物や植物、鳥や小さな虫達まで生きとし生けるものに目を向け、日常の出来事や、時折仄々に感じた事などをテーマに作品作りをしています。

「共に…」



**絵画**  
辻 久美子  
Kumiko Tsuji

2006年 第80回国展 絵画部奨励賞・準会員推挙／栃木県芸術洋画部門芸術祭賞  
2009年 第83回国展 絵画部準会員優作賞  
2010年 第84回国展 指保ジャパン美術財団奨励賞  
2011年 第67回指保ジャパン美術財団奨励賞  
2014年 バイ・マドレーヌ寺院「祈りの美術展」出品  
個展 ギャラリー・イン・パル／銀座スリガ台画廊／たから園現代工芸／ギャラリー音楽の森 等  
グループ展 銀座ギャラリー・あづま／銀座画廊るたん／ギャラリー・晩／ギャラリー・絵 等  
現在 国画会会員、栃木県新作家集団会員、つじ造形教室主宰、小山市在住



「流動する瞬息」  
「風」「水」を時間の象徴としてとらえ、それらの流れる瞬間を小さなパーツに置き換え、それを積み重ねる事で、風や水の不可視的な動き、つまり時間の経過を可視化、図像化しています。時間のパーツが堆積され植物のような、生命体のようなものに変容され、その広がりは大気を俯瞰した時に表れるダイナミックなフォルムに創られ、時の瞬きが導いた、新しい造形図を構築する事を意識して制作しています。

「風織」 215×350cm ミクストメディア

## 第2会場 旧栗野中 月曜休館 10:00～15:00

### 現代アート展 11.18(日)～30(金)

**新村 優子**  
Yuko Niimura

2006年 第70回新制作展新作家賞受賞(東京都美術館／上野)  
2007年 新制作受賞作家展(ギャラリー・せいほう／銀座)  
2008年 第43回昭和会展(日動画廊／銀座)  
2013年 個展(ギャラリー・空／上野)  
R293美術展(佐野市文化会館／佐野市)  
2016年 個展(ギャラリー・ならん展／谷中)  
森のアトリエワークショップ(宇都宮美術館／宇都宮市)  
FINE ART展(茨城県つくば美術館／筑波市)  
2017年 クローキング展(長野県立信濃美術館／長野市)  
2018年 陶板でつくる若冲展(佐野市吉澤記念美術館／佐野市)

どうぶつたちが、そのままに生きているところに惹かれます。力強くやさしい立ち姿を、つちという素朴な素材で、そののちを少しだけ拘うように制作しています。栗野中学校の旧校舎も、ここで暮らす方々の生活をおるがままに受け止めて、今ここにのびのびと感じました。そういった気配を尋ぶように展示ができれば、と思っています。



「くつした」

**飯村 直久**  
Naohisa Iimura



「大切なことを運ぶ間に…」

彫刻は大学生になって出会いました。それまでは漠然と美術が好き、もの作りが楽しいと思っていただけなのですが、思い(かたち)をつくるのがどれほど難しく、どれほど楽しいかを知り、現在に至ります。

最近の作品は、自分への問いかけであったり社会への問いかけであったりします。本当に自分は大切なこと(もの)をちゃんと未来へ運んでいるのだろうか？他の人はどうだろうか？何を考えて生きているのだろうか？大切なことは何？と常に自分と対峙し、そんな思いをかたちにしたいと考えながら制作しています。

**石川 隆**  
Takashi Ishikawa



「飄飄」

10年近く主に銅を彫っており、なぜ銅を彫っているのかとよく尋ねられるのですが、理由として考えられることは、体が変化自在に変化するところと、ほかの生物とは大きくかけ離れた尋常ではない形(構造)をしているところに魅かれたからだと思います。ずつと頭部の前にあると思っていた墨を吐き出す漏斗が、実は後頭部についていることが分かった時はびっくりしました。

**本多 正直**  
Masanao Honda



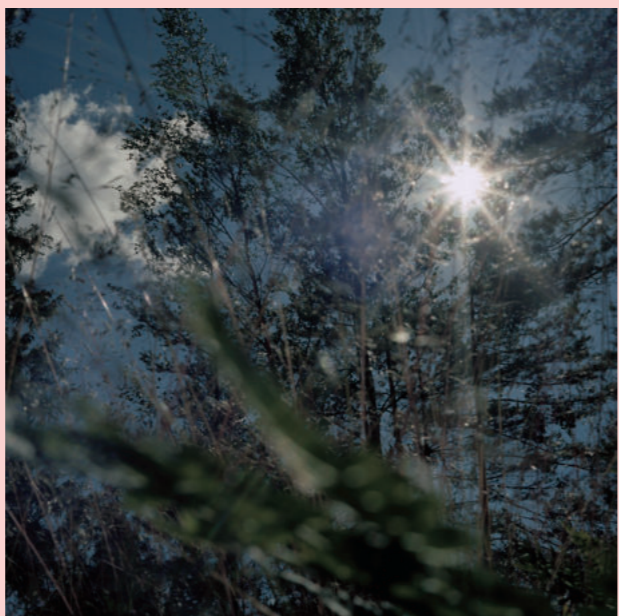
「SEED OF PEACE-雲上の休息-」

私の彫刻は、自分の日々の生活の中で強く思うことをテーマにした具象彫刻です。今は、2005年の上野公園「時忘れじの塔母子像」制作から「平和への思い」をテーマに、石彫作品とテラコッタ作品の制作を続けています。天上人が与えた平和の種を、地上の人々は大きく育てることができているのか…世界中の人が思いやりの水をかけ大きな木に育てることができているのか…、そんなことを考えながらの制作です。

**糸井 潤**  
Jun Itoi

2010年 「Cantos Familia」個展:ギャラリー・ヒポリテ、ヘルシンキ(フィンランド)  
2011年 「Kaamos」個展:ギャラリー・工房 観(東京都)  
「Cantos Familia」個展:銀座ニコンサロン(東京都)  
2012年 「Cantos Familia」個展:小山市立屋敷美術館(栃木県)  
2013年 「みる、ふれる、きくアート」企画展:栃木県立美術館(栃木県)  
「Domani」明日 展、企画展:国立新美術館(東京都)  
「Cantos Familia」個展:ピクチュラ・ギャラリー(アメリカ)  
2014年 「Discoveries of Fotofest」企画展:フォトフェスト(アメリカ)  
2015年 ジョグジャカルタ・ビエンナーレ参加:ジョグジャカルタ(インドネシア)  
「Sight-Seeing」グループ展:Combaz7ギャラリー(スイス)  
「Cantos Familia」個展:メインランド大学(アメリカ)

写真作品を通して、自我や、幼少時の記憶、内なるものと外世界との境界についての出来事を、表現しようとしている。生まれ育った日本から離れて、人生の3分の1を異国で過ごした経験が、作者の創作の大きな土台となっている。作品群のひとつに、森の中にある光を、生と死の間にある境界線のメタファーとしてとらえようとしたものがある。森の中で多くの時間を過ごした経験から、アニミズムや、人々の折りの「場」というものに興味を持ち制作を続けている。



「シリーズ Cantos Familiaより 019-05-07」

**堤 一彦**  
Kazuhiko Tsutsumi



「雲居ノソラ」

貝や昆虫など、自然のかたちは、さまざまなイメージを私に語りかけます。自然が持っている何らかの形質は、自然が宿している生命の起源まで結びついています。また素材である石は、はるかな時間とエネルギーを感じさせてくれます。石の彫刻によって、自然の摂理に潜む、生存の本質といったものを表現したいと考えています。

**小尾 昌弘**  
Masahiro Obi



「Core」

「日本三霊峰白山のふもとに位置する石川県・吉野工芸の里に石工房をかまふ日々制作しています。自然豊かな里山の工房で、石と向き合い、話し合い「対話」によって作品を創っています。近年は「Core」と題した、それぞれ個性を持つフォルムが集合して構築された単純形態に「存在の中心核」を見出し制作・発表しています。」

**渡部 順子**  
Junko Watanabe



「風のリング」

「私は二十代の頃より様々な石を用いて彫刻を造って来ました。最近では風の発生や草花の開花をテーマにして、勢いがありつつも柔らかい表現世界を主に大理石を用いて研究しています。」

**駐車場** 栗野中: 東門より入り、校舎の南側のロータリー  
旧栗野中: 校舎東側

**受付** 栗野中: 駐車場より校舎来賓玄関を入り受付してください。  
旧栗野中: 校舎正面玄関を入り受付してください。

問い合わせ先 TEL. 0289-85-8787 (教頭まで)

